

くまのくにみ

広報

NO.462

平成24年1月
2012.

1



おいしい“もち”になあれ

藤田保育所では12月上旬、みんなで仲良くもちつきをしました。子どもたちは、臼の中の白いものを見て、「これっておもちなのかな」と不思議に思いながらも、おいしいもちになるよう杵でペッタン、ペッタンとついていました。

◆ 今月のおもな内容 ◆

平成 24 年年頭のあいさつ	2
国見町復興計画	4
まちづくり懇談会	6
2012 年こんな年にしたい	14
笑顔のひろば	17
まちのわだい	18
保健だより	20
くらしの情報	22
生涯学習つうしん	24

平成24年 年頭のごあいさつ

国見町長
佐藤 力

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、希望に満ちた新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて昨年3月11日14時46分に発生した東日本大震災により被害を受けた皆様に向けてお見舞いを申し上げます。

国見町内においても、多くの皆様方の家屋等が被害を受け、役場庁舎や道水路、上下水道等の公共施設にも甚大な被害が出たところでもあります。
町では、同日15時に災害対策本部を設置し、広報車

や消防団による避難誘導、文化センターをはじめ17か所の避難所設置、職員・消防団の町内危険箇所被害状況確認、町内会長による被害状況調査、民生委員による要介護等人員把握、女性防火クラブ・日赤奉仕団による炊き出しの要請、広域

消防組合の在駐、ボランティアセンター開設、防災行政無線放送や災害情報による広報等々全力でその対応にあたって参りました。この間の町民の皆様方の冷静な対応とご理解ご協力に對し、心より敬意を表するとともに御礼を申し上げます。

す。お蔭をもちまして、大きな混乱もなく、迅速に復旧作業を進めることができ、また役場業務も3月18日には復旧ができたところであります。

地での洪水、地震などの政治経済の混乱や自然災害が頻発した年でもありました。国内的にも、過去最高の円高、各地での集中豪雨や、TTP参加の問題など混乱した年でしたが、厳しい話題の中でもなでしこジャパンの女子ワールドカップ優勝や国見町とは縁深い平泉の世界遺産登録など明るい話題もありました。昨年の世相を表す漢字が「絆」と

新たな「国見小学校」への統合の諸準備が予定どおり進められており、永年の課題の解決が図られたところでもあります。また、同校の体育館建設工事も完成に向け順調に進捗しております。道の駅事業については、実施設計を発注すべく地質調査を行っているところであります。

り、策定した国見町復興計画や放射能除染計画の事業推進を図りながら町内における除染対策をはじめとして、健康に対する不安の払拭、風評被害により大打撃を受けた町産業の立て直しや補償請求、浄化センター汚泥の早期搬出、更には役場庁舎復旧の問題等々取り組まなければならぬ喫緊の課題が山積しており、これが対応に全力を傾注してまいります。そして、第5次国見町振興計画の基本理念と将来像のもと、これを

さて、大震災から早10か月が経過しようとしております。復旧・復興に向け、落ちつきを取り戻しつつありますが、大震災に更なる重大な追い打ちをかけた東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故はその収束が長期化する見通しであり、早急な収束を強く求めるものであります。町内にも飯舘村から避難を余儀なくされている皆様がおられますが、その心情は察して余りのあるところであり、一刻も早い帰郷の実現を切に願っているところであり

わが国見町におきましても、大震災の対応に忙殺された厳しい1年ではありましたが、町政においては、小学校適正配置検討委員会の討議をいただいて平成24年4月1日から全小学校を

また、一昨年、大雨による災害により中止せざるを得なかった「義経まつり」については、平成23年度も開催が危ぶまれたところですが、会場を上野台運動公園に移し、皆様のご協力のもと趣向を変えて開催ができたところでもあります。当日は、天候にも恵まれ多くの皆様の来場をいただき、イベントを盛り上げていた

実現するために生活・産業・防災基盤の整備、教育・少子高齢化対策など引き続き、安全安心そして自立の町づくりを推進して参りますので更なるご理解、ご協力を願ひ申し上げます。
結びに、今年度が皆様にとって良い年でありませう心よりご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたしま

このような中にありまして、国際的には、ギリシャの財政破綻や中東における民主化の嵐、そして世界各

を申し上げます。

を申し上げます。

を申し上げます。

第5次復興計画とともに動きだす 国見町復興計画（第一次）

平成23年にスタートした第5次復興計画で示された基本理念や将来像は、震災による目標値の修正があったとしても、町が目指す方向に変わりはありません。

しかし、震災対応や放射能対策など復興計画策定時に想定していなかった施策に対応するため、国見町復興計画（第2次）を、第5次国見町復興計画を補完する計画と位置付け、復興に向けた取組を5つの施策に体系化しました。今後は計画の実施にあたっては3点について留意して進めていくこととなります。

① 今回の災害は、基礎自治体である国見町だけで対応できるものをはるかに超えるものです。そ

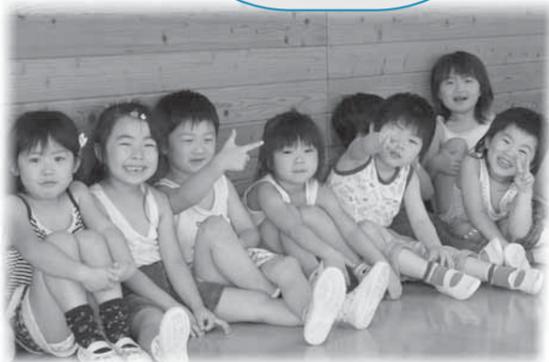
ここで国、県による支援制度をはじめ、他の自治体からの広域的な支援を積極的に活用します。

② 震災からの復旧・復興への取り組みを国見町の緊急課題であると位置づけ、震災からの復興施策を優先した事業展開に取り組みます。

③ 復興計画に位置付けられた事業は、放射能対策の状況や社会経済情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて見直すこととします。



復興



第5次復興計画 後期計画へ

平成28年度以降については、第5次復興計画の後期計画と合わせ、位置づけします。

【基本理念】

国見町民であることに喜びと誇りをもち、心あわせて希望に満ちた未来を創るまち

【将来像】

心あわせて希望に満ちた豊かで生きがいのある国見町

復興期間 3年 (平成25～27年度)

復旧されたインフラによって、国見町が震災に見舞われる以前に戻るため、活力を回復し、地域の発展により価値を高めていく期間

当面の計画期間は、平成27年度までの5年間となります。その後は、第5次復興計画の後期計画に引き継がれ復興への道を進むこととなります。

復旧期間 2年 (平成23～24年度)

生活や産業の再開に不可欠な住宅、生産基盤、インフラなど重点的に対応する復旧を図るとともに、再生・発展に向けた準備を精力的に進める期間



震災



復興に向けた5つの施策

震災と原発事故による放射能汚染により、町民生活は大きな打撃を受けています。一日も早く平穏な日常生活を取り戻すために、復興に向けた施策を掲げ、復興に取り組めます。

経済と雇用の回復

被災者の生活支援

放射能被害に向き合うための支援

復興

防災体制の整備

暮らしの再建支援

- 重点プロジェクト
- ▶ 役場庁舎の復旧
 - ▶ 放射線量低減対策の推進
 - ▶ 被災者の再建支援
 - ▶ 災害廃棄物の処理
 - ▶ 道の駅整備の推進
 - ▶ 特別養護老人ホームの立地推進

庁舎復旧検討委員会の建議を受け 基本構想を策定！

町では、東日本大震災で被災した役場庁舎の復旧について検討を行うため、「国見町庁舎復旧検討委員会」を設置しました。検討委員会では、3回にわたる会議を開催し、その復旧方法について検討を行い、12月20日に町に対して建議をしました。この建議を受け、町では「現在の場所に庁舎を新築する」との庁舎復旧基本構想を策定しました。

今後は、庁舎新築に向けた基本設計を進めることとなります。

まちづくり懇談会

11月27日～12月3日にかけて町内5箇所で「震災からの復旧・復興」をメインテーマに開催した今年のみちづくり懇談会。震災時の災害対策、防災行政無線、放射性物質の除染問題など、出席者の皆様から貴重なご意見や質問をいただきました。懇談会で出された震災や放射能汚染に関するご意見や質問、そして町の対応について、その概要を皆様にお知らせします。



3・11東日本大震災 町の災害対策

●3月11日の震災により藤田地区では、観月台文化センターに避難しました。一方で防災訓練では、藤田小学校に避難しました。現実的にどこに避難するのが良いのか。

▽避難場所は、町内で17か所を指定しています。今後は、防災無線などにより、避難場所の指示をしていきますが、町としては各地区とも、防災無線の屋外拡声器を設置した中央集会所施設をメインの避難場所として対応していきます。

●震災時、地区で給水活動を行うようになりましたが、給水車両の燃料手配や具体的な説明などが足りなかったのではないかと。説明が不十分でした。緊急時の対応ということでご理解をお願いします。

●り災証明書の発行が遅かったのではないかと。り災証明書を期限までに提出でき

ず、会社や学校からの支援を受けられなかった人がいました。

▽当町の場合、一級建築士による被害の判定をしましたが、その他の市町村に比べ被害が多かったため、発行に時間を要しました。緊急の中で、対応が遅れたことについてお詫びいたします。

●仮設住宅の建設が他の市町村に比べ早く良かった。

▽震災の対応の中で、良かった、悪かった点があります。今後の教訓にさせていただきます。

●自主防災会の運営について、町内会と分けて行った方が良いのではないかと。

▽自主防災会は、今回の震災で安否確認などの際に役立つという話もあります。組織のあり方については、町内会ごとが活動しやすいのではないかと考えています。

●防災倉庫の備蓄品を定期的にメンテナンスした方が良いのではないかと。

できるのか。

▽平成23年度中に観月台文化センターに親機を移設します。その後緊急警報などが放送できるようになります。

放射能汚染対策

●放射線量の測定結果によると、観月台文化センターの芝生が高いようですが、除染の予定はあるのか。

▽除染計画の中で考慮していきます。

●放射性物質の除染方法などについて、町の指導をお願いしたい。

▽除染の専門家などに指導依頼するなどの対応を考えています。

●学校の校庭などは除染されているが、個人の自宅なども専門家に測定してもらいたい。そして、線量が高い場合、町としてはどのように対応するのか。

▽各個人の自宅などは、線

▽自主防災組織の防災訓練などにおいて、有効期限が近いものを参加者に配り、不足分は補充するなどの対応で有効活用していきたいです。

●役場庁舎が今回のように使えなくなったのでは、緊急時の役に立たないのでは、二重三重の安全策を講じてほしい。

▽そのようにしていきます。

各家庭に設置した 防災無線について

●防災無線は、地区ごとに分けて放送できるのか。

▽被災した役場庁舎に親機があり、今後観月台文化センターに移設すれば、地区ごとに分けて放送することができます。

●定期的に試験放送をした方が良いのではないかと。防災に関わらず、町からお知らせなどに利用したらどうか。

▽町では、今後防災無線を利用するための要綱を定め

など専門家の意見を取り入れて仮置き場の設置を進めていきます。

●季節保育所敷地など公共施設の除染は、町が業者に依頼するなど、行政の支援をお願いしたい。

▽除染計画の中で、そのような方向で進めていくようにします。

●汚染された防火水槽の汚泥の処分について、現時点でできない。この機会に消火栓に変更してほしい。

▽消火栓の設置については、消防団の会議の中で緊急性のある箇所から設置しますので、消防団に伝えてください。汚泥の処理については、仮置き場が決まるまで待つていただきます。

●農地の環境放射線量率を町内12箇所で測定しているが、十分なのか。

▽今後、除染計画の中で適正な測定箇所を示していくようになります。

(次ページへ続く)

●防災無線の戸別受信機の電源を切っている人が多いと思います。常に電源を入れておくようにお知らせすべきです。

▽回覧などでお知らせします。

●防災無線から緊急地震速報が流れるようになると聞いていますが、いつ頃から





交通事故を防ぐために
大木戸小6年高橋香澄

私達の町の中には、交通安全を呼びかける看板やポスターなどがあちこちにあります。しかし、毎年数えきれないほどの人が、交通事故にあっているのです。私達の身の周りで、少しでも交通事故を減らすには、どうしたらよいのでしょうか。

まず、歩行者も運転手も周りを見る、ということをお忘れなければいけないと思います。歩行者の場合、友達と話しながら歩いたりすれば、車が来たことも気づけません。道路をわたる時には、右、左よく見て、車が来ないことを確認することが大事です。同じように、運転手も左右しっかり見て、交差点では一時停止するなどのことを守ってほしいです。

また、最近呼びかけられている『全席シートベルト』も事故を防止するために守らなければいけません。もし、事故が起きたとしても、シートベルトをしているのと、していないのでは身体へのえいきょうは大きくちがってきます。実際に、私もシートベルトを付け忘れたことがありました。そしたら、急ブレーキをかけた時に前にたおれそうになりました。とてもびっくりしました。それから、シートベルトがいかに大切だということが分かりました。これからは必ずシートベルトを着用したいと思います。

そして、最も事故につながるのは、スピードの出し過ぎだと思います。朝、登校している時に、細い道路を勢いよく通り過ぎていった車がありました。あんなスピードで人とぶつかったら、けがだけでは済まないと思います。運転手自身も大げなことをします。もし、急ブレーキをかけても、あれほどスピードを出していれば止まれないこともあると、テレビで言っていました。どんなに急いでいる時でも、細心の注意をはらって運転してほしいと思います。

交通事故を防ぐためには、一人一人できることから始めることが大事だと思います。『自分の命は自分で守る』ということをお心げれば、交通事故を減らすことができるのではないのでしょうか。私達の力で事故のない住みよい町をつくりましょう。



平成23年度 国見町・桑折町 交通安全町民大会

平成23年度国見町・桑折町交通安全町民大会が12月3日、国見町観月台文化センターで開催されました。交通安全町民大会は、悲惨な交通事故が発生している現実を直視し、より一層の交通安全の重要性を認識し、子どもから高齢者まで安全で住みよい町づくりを推進することを目的として開催されています。

大会では、交通事故犠牲者に対する黙とうをささげ、大会長（佐藤力町長）らによるあいさつが述べられた後、交通安全功労者などの表彰が行われました。また、大木戸小6年の高橋香澄さんほか2名による交通安全に関する提言の発表があり、武田正昭国見町教育長が提言に対するまとめを述べました。

- ◆表彰受賞者 敬称略 国見町分のみ
 - ◆大会長 国見町長・福島北警察署長連名表彰
 - 交通安全功労者（個人）
 - 佐々木和保、松浦美智子
 - 交通安全優良団体・事業所
 - 桑折地区交通安全協会大木戸部会
- ◆福島北警察署長・桑折地区安全運転管理者協会長連名表彰
 - 秋元造園（株）、国見ガス住宅設備（株）、（有）ツカサ運輸
- ◆東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰（表彰伝達）
 - 優良運転者 松田正一
 - 優良学校 藤田小学校
- ◆全日本交通安全協会会長表彰交通栄誉章「緑十字銅賞」（表彰伝達）
 - 優良運転者 鈴木光雄
- ◆福島県交通安全協議会会長表彰（表彰伝達）
 - 優良市町村交通安全協議会 国見町交通安全協議会
 - 交通安全活動協力者
 - 熊坂初男、太田エイ子
 - ◆福島県警察本部長・福島県交通安全協会会長連名表彰（表彰伝達）
 - 優良運転者 佐久間弘子
 - 交通安全優良学校 小坂小学校

●放射性物質は、何をもちて「0」と言えるのか。また、NDとは、どういうことなのか。NDであっても、いくらかでも数値が出ている場合、農産物が売れない状況にあります。

▽放射性物質の測定器には、誤差の範囲というものがありません。町の放射性物質の測定では20ベクレル以内は、ND＝検出限界値としてい

●福島県の食べ物は安全だと言いますが、どこで安全なのか分からない。原発事故が無くても、自然界から放射線は出ている。全国的に放射線のことを分かります。PRしてあげれば、福島県の食べ物も売れるようになるのではないかと。

▽放射性線に対する正しい知識、情報の発信は必要であると考えています。

●水道水には、どのくらいのセシウムが入っているのか。

▽すりかみ浄水場で週3回測定していますが、セシウムは検出されていません。

県北浄化センターの汚泥問題

●浄化センターの汚泥処理について、現在どのような状況なのか。報道では、場内の仮置き場のことばかり問題とされていて、周辺住民の環境問題のことが薄れています。



汚泥が仮置きされている浄化センター内のテント

▽初期に設置したテントの雨水は、直接阿武隈川に流れる側溝に流れます。現在増設している箇所の方は、地下に浸透していく状況です。

●果樹の除染をした後に、浄化センターから放射性物質が飛んできて桃畑などが汚染されないようにしてほしい。

▽浄化センターの汚泥から放射性物質が飛んできて周囲を汚染するということはありません。

●風評被害を防ぐために町ではどのような対応をしていくのか。浄化センターの汚泥に関して、国見町という名称が出ている状況です。

▽風評被害を防ぐため、正しい知識を発信するなどの対応をしていきます。

震災からの復旧・復興について、皆様から多くのご意見などをいただき、ありがとうございました。

町内の移動に便利！
ご自宅から、商店や病院へ
利用してみませんか

国見まちなかタクシー

- 利用料金は、200円から
まちなかエリア内移動は、1回200円、周囲のエリアからまちなかエリアへは、1回400円で利用できます。
- 利用できる時間
月曜日から金曜日まで（祝日を除く）の午前8時30分から午後4時までとなっています。
- 利用するためには事前登録が必要です。

まずは、お電話を ☎ 585 - 5006

6. 職員手当の状況

区分	6月期		12月期		合計	
	期末手当	1.225月分	1.325月分	2.55月分		
勤続手当	0.675月分	0.675月分	1.35月分			
退職手当	制度上の段階、職務の級による加算措置あり。月数は平成23年12月1日現在です。					
区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度		
	自己都合	23.5月分	33.5月分	47.5月分	59.28月分	
定年・勲奨	30.55月分	41.34月分	59.28月分	59.28月分		
時間外勤務手当	正規の時間を超過して勤務したときに支給される手当です。平成22年度総支給額（選挙手当を除く）37,814千円 職員一人当たり375千円（年額）					
特殊勤務手当	危険・困難・不快・不健康な業務に従事する職員に対して支給される手当です。 手当の種類 12種類 代表的な手当の種類 徴税事務職員 ※平成20年4月1日から当分の間支給を停止しています					
扶養手当	配偶者13,000円、扶養親族それぞれ6,500円（ただし、配偶者のいない職員の扶養親族のうち1人は11,000円）、扶養親族のうち満16歳の年度初めから満22歳に達した年度末までの子供につき月額5,000円を加算（月額）					
住居手当	借家・間借 月額9,500円を超える家賃を払っている職員に対し、月額100～27,000円					
通勤手当	2～4Km未満 2,300円 4～6Km未満 3,500円 6～8Km未満 4,700円 8～10Km未満 5,900円 ……… 80Km以上 45,800円（いずれも月額）					

7. 特別職等の報酬など

区分	給料（報酬）月額		期末手当
	平成23年4月～6月	平成23年7月～	
町長	574,400円（30%減後） さらに3%減	議 長	338,000円
副町長	557,300円（15%減後） さらに3%減	副議長	254,000円
教育長	523,600円（15%減後） さらに3%減	議 員	228,000円
			6月期 1.40月分 12月期 1.55月分 合計 2.95月分

※期末手当の月数は平成23年12月1日現在です。

8. 部門別職員数の状況（地方公共団体定員管理調査に基づく人数で全職員数です）

部門	一般行政部門								特別行政	公営企業等	合計	
	議会	総務	企画 商工	税務	民生	衛生	農林	土木				
平成22年度	2	17	6	9	14	6	8	6	68	18	15	101
平成23年度	2	18	5	9	13	6	9	8	70	19	16	105
増 減	0	1	△1	0	△1	0	1	2	2	1	1	4

※増減の主な理由は、東日本大震災により定年等退職者の退職日を6月30日まで延長（各4月1日現在）したこと、震災に係る業務対応のため、各課の応援体制を行ったことによるものです。
※条例上の定数は121人となっています。

1. 人件費の状況（平成22年度普通会計決算）

住民基本台帳人口H23.3.31	歳出総額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率（B/A）
10,281人	4,362,815千円	279,172千円	908,529千円	20.82%

※普通会計とは、水道事業会計などの公営企業会計等を除く一般会計を主とする会計をいいます。

※人件費には、一般職員の給与の外、特別職（町長等、議会議員、非常勤の特別職）及び嘱託員に支給される報酬等を含みます。

2. 職員給与費の状況（平成22年度普通会計決算）

職員数（A）	給与費				1人当りの給与費（B/A）
	給 料	職員手当	期末・勤続手当	計（B）	
89人	314,823千円	70,323千円	115,052千円	500,198千円	5,621千円

※職員手当に退職手当は含まれません。

3. 職員の平均給料及び平均年齢

区分	国見町		福島県	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	329,400円	41.8歳	353,933円	43.9歳

※一般行政職とは、資格職等を除く職員をいいます。
※国見町では、平成20年4月1日から給料を級別に一定率の削減をしています。（2級の職員1%減、3級の職員2%減、4級以上の職員3%減）

4. 職員の初任給及び経験年数別給料月額状況

区分	初任給	経験年数	
		10年	20年
一般行政職	大学卒	181,800円	272,300円
	高校卒	146,900円	225,700円
		373,800円	319,300円

※経験年数とは、卒業後直ちに採用された場合は採用後の年数を、採用前に民間歴などがある場合は、その期間を換算し採用後の年数に加算した年数をいいます。

5. 一般行政職の級別職員数

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
標準的な職務	主 事	主 事	主 査	主任主査	課長・主幹	総務課長・参事	
職員数（人）	8	3	24	27	5	7	74
構成比（%）	10.81	4.05	32.43	36.49	6.76	9.46	100.00

平成23年4月1日現在の「地方公務員給与実態調査」などを
基にした町職員の給与の状況をお知らせいたします。

町職員の給与等の状況を
お知らせします



国見ニュータウン

国見ニュータウンは、東日本大震災による被災者の方々を対象に半額で分譲することとなりました。

◆対象となる受付期間
平成23年9月1日～平成24年2月28日

◆対象となる方

- 東日本大震災により、居宅していた住居が全壊（半壊などにより取り壊した方を含む）
- 福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域などになった地域に住所を有していた方

※詳しくは、国見町ホームページをご覧ください。

国見ニュータウン

交通の
利便性と
すぐれた
立地条件!!

低価格
!!

上下水道
完備!!

3拍子揃った自慢の宅地!!
着実なる前進 安心確実の分譲地

19区画分譲中

■お問い合わせは■ 国見町企画情報課 ☎585-2927 kikaku@town.kunimi.fukushima.jp

確定申告書作成会場は 福島市市民会館

■ 福島税務署内には申告書作成会場を開設しておりませんのでご注意ください。

開設期間 / 2月1日(水)～3月15日(木) 受付時間 / 午前9時～午後4時
※ 土・日曜日・祝日を除く。ただし、2月19日、26日の日曜日に限り開設します。

場 所 / 福島市市民会館（福島市霞町1番52号）
※ 駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関をご利用ください（福島交通バスの「附属小前」で下車）。

■ 所得税・消費税・贈与税の申告が必要な方、税金の還付を受ける方が対象です。
■ 東日本大震災により住宅等に被害を受けられた方は、所得税の還付や軽減を受けることができます。
■ 問い合わせ／福島税務署 ☎534-3121
※自動音声でご案内いたします。



確定申告便利なe-Taxで!

確定申告

※これまでどおり、国見町役場(仮庁舎)においても2月中旬より申告相談の受付を行います。詳しくは、後日お知らせします。

第8回国見町桜のうた短歌募集

三十一文字に思いをこめて・・・
桜にちなんだ短歌をお寄せください
復興への祈りなども
歌に託してお寄せください

■応募期間

2月29日(水)まで

■応募点数

一般の部1人2首、学生の部1人1首

■応募方法

①はがきでの応募

〒969-1792

義経ゆかりの国見町「第8回国見町桜のうた」係

②インターネットでの応募

国見町公式ホームページより

<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/>

③応募用紙での応募

国見町観月台文化センターまたは国見郵便局の
応募箱に投函

■その他

- ・入賞作品は、4月に開催する表彰式で披露されます。(賞は、一般の部、学生の部に分けて大賞ほか多数の賞を準備します。)
- ・桜のうたボランティアスタッフを募集します。希望される方は、事務局までご連絡ください。

◆問い合わせ

国見町桜のうた実行委員会事務局(企画情報課内)

☎585-2927 FAX585-2181

E-mail kikaku@town.kunimi.fukushima.jp



まちの復興のために

国見町で活動する全国の自治体からの応援職員を紹介します。

京都府京丹後市
上下水道部普及推進料金課
主任 嶋田圭悟さん

京都府京丹後市(人口約6万人の京都府の北に位置する日本海に面した市)より、応援職員として、平成24年3月までの期間、税の専門知識(以前税関係の部署で5年間勤務)を生かし、町税の減免など担当しているのが嶋田圭悟さんです。

嶋田さんは、被災地で人手不足というテレビ報道などを見て、京丹後市への応援職員の要請を受けて、被災地支援を志願した結果、国見町に派遣されました。

国見町のことについて嶋田さんに聞くと、「のどかな田園風景が広がり京丹後市とも似ています。町内の人は明るく話しかけやすい人柄がいいなと思います」と話してくださいました。

第16回

国見町義経まつり決算

2年ぶりの開催となった今年の国見町義経まつりは、震災の影響もあり規模は縮小しましたが、天候に恵まれ会場は多くの人々で賑わいました。

この度、事業の決算がまとまりましたのでお知らせします。

なお、収支差引残金1,112,965円のうち前年度からの繰越金411,288円を除いた701,677円は、国見町まちづくり推進協議会に返還します。

収入 (単位:円)	
項目	決算額
まちづくり推進協議会助成金	4,300,000
繰越金	411,288
雑入(露店等売上)	108,392
合計	4,819,680

支出 (単位:円)	
項目	決算額
歴史舞台劇等ステージ関係 (ステージ設営、役者衣装など)	2,071,092
遊具、露店等イベント関係	646,844
総務関係 (チラシ、ポスター、フォトコンテストなど)	988,779
合計	3,706,715

震災により倒壊・流失などした建物を職権により減失登記します

福島地方方法務局では、東日本大震災により倒壊・流失などした建物について、被災された方々の負担軽減のために、建物所有者からの申請によらず、登記官の職権により減失登記を行うこととしました。3月末頃までの期間、職権減失登記の作業を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

◆お問い合わせ
0120-227-746
(フリーダイヤルまたは、福島地方方法務局不動産登記部門減失登記等作業総括事務局
☎534-1127

なお、減失登記を行った時には、登記簿上の建物所有者に通知します。また、減失登記の費用は、法務局が負担します。

下水道を使用している皆様へ
～緊急のお願い～

「汚泥を少なくする取り組み」

下水処理場では、家庭からの汚れた水(下水)をきれいな水にして川や海に戻していますが、この時に汚泥が発生します。

今回の原発事故の影響により、この汚泥から放射性物質が検出されたため、現在徳江地内の下水処理場から場外に運びだせず、処理場内に仮置きをしています。その結果、汚泥から発生する悪臭などにより、周辺住民の皆様にご心配とご迷惑をかけている状況にあります。この状況が長く続くと、下水の処理にも影響が出る可能性があります。汚泥の安全な処理については、現在関係各機関で対応を検討しています。このような状況をご理解いただき、下水道を使用している皆様には、「汚泥を少なくする取り組み」にご協力お願いします。

◆1トンの下水を処理すると約1kgの汚泥が発生します。水道水の使用量を10%減らすことで、汚泥を0.1kg減らすことができます。水の使用量を減らすことは、上下水道料金の削減にもつながりますので、ご協力をお願いします。

—取り組みのポイント—

①台所で使用している水の汚れを少なくする

- ・野菜くずは、水切りネットなどを使用し、下水へ流さない。
- ・食べ残しがないよう料理は必要な分だけ作り残さず食べる。
- ・汚れた食器やフライパンに残った油は、いらない紙で拭きとってから洗う。
- ・天ぷら油などを捨てる場合は、市販の油固化剤を用いるか、新聞紙に吸い込ませるなどして、燃えるゴミとして処分する。(4人家族の世帯では、1日約1トンの水を使用していますが、使用後の水1トンには約170gの汚れが含まれています。この170gのうち、約40%に相当する約70gが台所からの汚れです。台所の汚れを少なくすることが効果的です。)



②洗濯で使用している水の汚れを少なくする

- ・洗剤の使用量を適正に使う。
- ・合成洗剤や中世洗剤の使用量は、多すぎないように適量を使う。

③風呂・洗面所で使用している水の汚れを少なくする

- ・シャンプーなどの使用量を減らす。
- ・歯磨き粉の使用量を少なめにする。

④トイレで使用している水の汚れを少なくする

- ・水に溶けないティッシュペーパーなどを流さない。
- ・紙おむつや生理用品、たばこなどのゴミを流さない。

⑤台所や風呂、トイレなどで使用している水の使用量を少なくする

◆問い合わせ 上下水道課下水道係 ☎585-2984

農業委員会が町の農政を建議



国見町農業委員会(朽木勝之会長)では12月22日、平成24年度の国見町の農政に関する建議を町に対して行いました。

建議は次に示すとおりであり、農業を取り巻く環境が厳しい状況にある中で、国見町の農業者が将来にわたって夢と希望を持てるようなものとなるよう町の配慮を求めるものとなっています。

～建議の内容～

- ◆原子力発電所事故に伴う被害への対応
- ◆平成24年度に向けた農業政策
- ◆担い手の確保と就農支援の促進
- ◆農山村の維持・活性化
- ◆有害鳥獣対策
- ◆農業委員会活動への支援

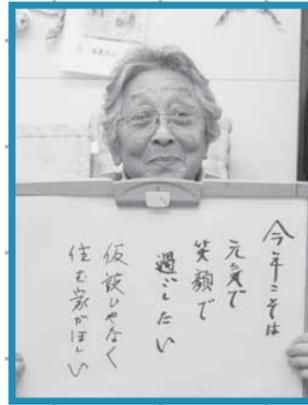


審査会に参加した町商工会青年部員

KFB福島放送主催の「ふくしまの元気!応援CM大賞」に国見町では、町商工会青年部員が制作した町をPRする2作品(「笑顔の力で」)を応募しました。見パ(ト)III)を応募しました。審査の結果、入選は逃しましたが、作品は福島放送で年15回放送されるほか、町のホームページでも見ることが出来ます。

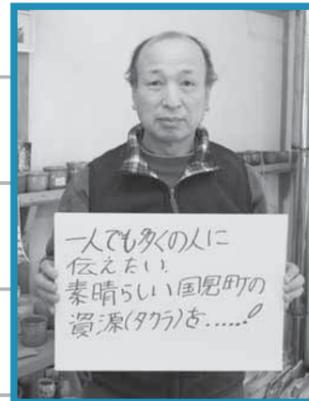
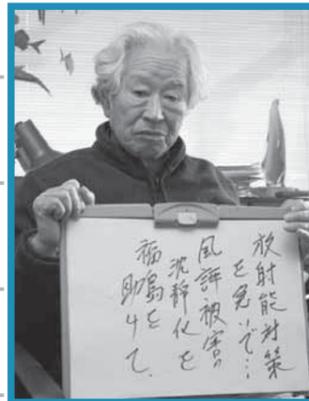
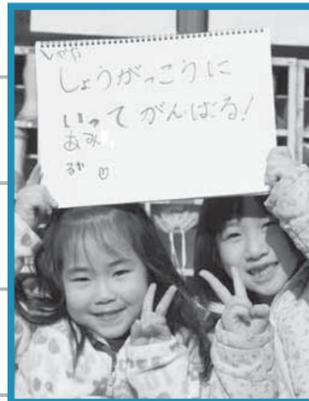
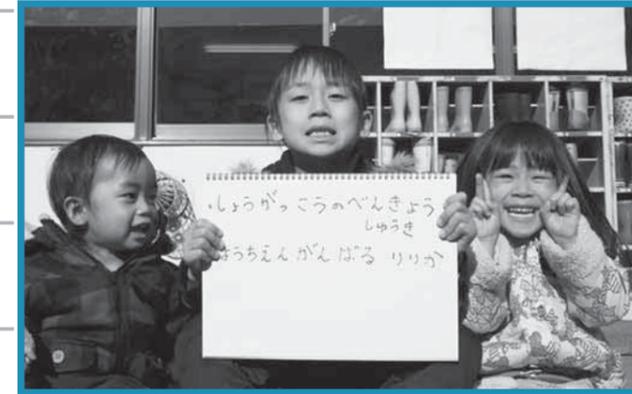
町をPRするCMを制作

CM大賞に2作品を応募



まちの人に
聞きました

2012年 こんな一年にしたい



- 2011年は、
こんな年でした
- 1月
 - 4日 新春賀詞交歓会
 - 9日 消防団出初式
 - 9日 国見町成人式
 - 22日 秋川雅史コンサート
 - 2月
 - 14日 所得税・住民税申告相談 受付開始
 - 3月
 - 11日 14時46分東日本大震災発生
 - 12日 福島第一原発の事故により、放射性物質が大気中に漏れる。放射能が中心に漏れる。
 - 18日 観月文化センターを役場仮庁舎として業務開始
 - 31日 国見町藤田財産区廃止
 - 4月
 - 1日 第5次国見町振興計画スタート
 - 1日 消防団辞令交付式
 - 6日 新消防団長に吉田春夫氏
 - 6日 震災で延期されていた小学校(天枝小を除く)の卒業式を入学式と同じ日に実施
 - 5月
 - 21日 交通事故死亡「0」2500日達成
 - 26日 小学校校長選考委員会で、新しい小学校の名称を「国見小学校」と決定
 - 6月
 - 19日 国見町議会議員選挙12人が無投票当選 23日に開かれた議会で八島博正氏が第14代議長に就く
 - 7月
 - 7日 放射能汚染対策として、小学校などの校庭の表土除去を実施
 - 10日 農業委員会委員選挙10人が無投票当選 22日に開かれた委員会で朽木勝之氏が会長に就く
 - 8月
 - 6日 国見夢まつり
 - 9月
 - 11日 沢木順復興支援コンサート
 - 18日 第5回市町村対抗軟式野球初戦で伊達市と対戦し惜敗
 - 21日 台風15号の影響により、阿武隈川が増水。川内地区、徳江前原地区に避難勧告発令
 - 23日 第16回国見町義経まつり
 - 10月
 - 23日 放射能汚染の影響によりあんぽ柿の加工を自粛
 - 20日 鹿島神社例大祭
 - 11月
 - 5日 第40回国見町文化祭総合展示開催
 - 12月
 - 6日 国見町消防団定期点検
 - 12日 阿津賀志山防塁第10次発掘調査(石母田地区)
 - 12日 第35回町内一周駅伝
 - 13日 JAまつり
 - 20日 第17回福島県議会議員選挙
 - 20日 国見町の投票率は54・51%
 - 20日 第23回ふくしま駅伝
 - 20日 国見町は総合37位
 - 20日 第26回国見町ソフトボールポールスポーツ少年団駅伝
 - 25日 国見町表彰式
 - 12月
 - 3日 国見町・桑折町交通安全町民大会
 - 13日 叙勲・各種表彰受賞祝賀会
 - 23日 阿津賀志山ビッグツリー点灯式



「笑顔のひろば」では、保育所・季節保育所・幼稚園・小学校・中学校の話題を紹介します。

クリスマスを前に お楽しみ会



幼稚園や保育所などでは、お楽しみ会が開かれ、子どもたちによる劇やダンスの発表がありました。

また、発表をがんばった子どもたちには、サンタさんからのプレゼントを、みんな大喜びで受け取っていました。

- ❶❸ (12/10：藤田幼稚園)
- ❷❽ (12/17：藤田保育所)
- ❹ (12/16：森江野季節保育所)
- ❻ (12/21：イキイキ子育てクラブ)
- ❼ (12/22：子どもクラブ)
- ❸ (12/14：森江野幼稚園)



お正月に向けて 鏡もち、しめ飾りを作りました



大枝小学校では12月15日、新年を迎えるにあたり、全校生で鏡もちとしめ飾り作りに取り組みました。

この日は、地区のおじいちゃん、おばあちゃんのお世話になり、餅を丸めたり、しめ飾りの縄をないました。年々昔からの慣習を行わなくなっている中で、児童は貴重な体験をしました。

閉校を前に 大木戸小で記念の植樹

大木戸小学校では12月19日、全校生で閉校を前に記念の植樹をしました。

植樹したのは、「はくれん」「もくれん」「こぶし」「花水木」の4本で、毎年春になると花を咲かせ、植樹をした児童にとって思い出の木となることでしょう。



全国すべての事業所が対象です 調査期日は、平成24年2月1日 経済センサス、活動調査

経済センサスとは

経済センサスとは「経済に関する国勢調査」で、会社やお店など、全国すべての企業・すべての事業所を対象とした調査です。

平成21年にも経済センサスの調査がありました。それは「基礎調査」であり、今回は「活動調査」です。基礎調査では会社・お店の名称や所在地などの基礎情報を集め、今回の活動調査では会社・お店の売上高などの経済活動を調査します。

またこれまでも、工業統計調査などさまざまな調査が行われていましたが、今回も知る事ができます。

調査内容

会社やお店の開設時期や、働いている人の数、売り上げなどをお聞きします。調査からは、産業別の事業所数、従業者数などのほか、これまで「工業統計調査」や「商業統計調査」で把握していた内容についても知る事ができます。

この結果、すべての産業についての経済活動の実態が明らかになり、国内総生産（GDP）の精度向上が期待されます。

調査には必ず回答 してください

「統計法」という法律に基づいて、報告の義務があります。また、みなさまに調査に答えていただかなければ、不確かな調査結果となり、誤った施策が行われることとなりますので、調査にご協力ください。

調査方法

- ①支店のない事業所
支店などのない事業所や新設された事業所には、1月末までに「調査員証」を身に付けた調査員が「調査票」を直接配布し、2月1日以降に調査員が直接回収に伺います。
- ②支店のある事業所
支店がある会社には、本社あてに1月末までに郵送で調査票をお届けし、2月1日以降に、郵送またはインターネットで回答していただきます。

調査結果の利用法

この調査によって、例えば、商店街にどんなお店がいくつあるか。商店街の売上高がどのくらいなのかなど、今まではわからなかった、地域のことまで知ることが出来ます。その結果は、政策決定や経営計画を行う上での基礎資料としての利用だけでなく、商店街活

性化のためのアーケードの架け替えや、街路灯整備のための資料として利用することが出来ます。

調査結果の公表

速報集計結果は、平成25年1月末に公表予定です。また、確報集計結果は、平成25年夏頃を予定しています。集計が完了次第、総務省統計局などのホームページで順次公表します。

◆問い合わせ

経済センサスコールセンター
0120-44-11034
企画情報課企画情報係
58512927



まちのわだい

出席者全員で祝う

叙勲・各種表彰受賞祝賀会開催



平成 23 年度叙勲・各種表彰受賞祝賀会が 12 月 13 日、J A 伊達みらい国見会館で開催されました。祝賀会では、発起人代表の佐藤町長のあいさつの後、叙勲受章者の勲記披露が行われ、受章者の方には町からの記念品と花束が贈呈されました。また、国や県の各種表彰受賞者の紹介もあり、出席した各種団体の代表者全員で叙勲受章者や各種表彰受賞者の皆さんを祝いました。

地元小坂産のそばを味わう

第 6 回小坂そばまつり開催



小坂まちづくりの会（小坂和也代表）主催による第 6 回そばまつりが 12 月 4 日、小坂農村総合管理センターで開催されました。

このそばまつりは、地域の活性化を目的に地元で栽培したそばを多くの人に味わっていただくために、毎年開催されているものです。今年は、放射能汚染の影響で栽培したそばの汚染も心配されましたが、検査の結果安全性が確認され、多くの人においしいそばを味わっていただくことができました。

町の環境美化のために

不法投棄されたゴミの撤去作業



生活環境推進員と町商工会関係団体による不法投棄ゴミの撤去作業が 11 月 30 日、小坂峠や山崎山などで実施されました。

不法投棄ゴミの撤去作業は、毎年行われていますが、毎年同じような場所に多く捨てられているのが現状です。撤去作業に参加した人々は、無くならない不法投棄にがっかりしながらも、町の環境美化のために崖下などから大量のゴミを拾い集めていました。

99 歳（白寿）のお祝い

村上シモさん（第 8）



満 99 歳を迎えられた村上シモさん（第 8）に対する敬老祝金の贈呈が 12 月 10 日、村上さんの自宅で行われました。この日は、佐藤町長より祝金、八島博正議長より花束が贈られ、家族や親戚の皆さんでお祝いをしました。

村上さんは、日常生活はほとんど自分でできるということで、この日も家の中を自分で歩き、みかんを配ってまわるなど、元気な姿を見せていました。

アジア大会で銀メダル

ボウガン競技 三木邦雄さん（山崎北）



11 月 21 日から 26 日にかけて台湾で開催されたボウガン競技のアジア大会で、三木邦雄さん（山崎北）がシニアの部で銀メダルを獲得しました。

三木さんは、会社を退職後この競技に取り組み、4 年ほどの経験ですが、山形県の競技団体に参加し練習を重ね、今回の成績をおさめることができました。◆ボウガン競技とは、銃に取り付けた弓から矢を撃ち出す器具を用い、離れた場所の的に当たった点数を競うもの。国際ルールでは、距離が 3 種類あり、それぞれ 30 射ずつ撃ち、その合計点数で競います。

楽しかった またやりたいね

仮設住宅入居者の交流会



国見町赤十字奉仕団（安田節子委員長）では 12 月 6 日、仮設住宅に入居されている方を対象とした交流会を観月台文化センターで開催しました。

交流会では、奉仕団員の指導により、参加者みんなで手遊びを楽しんだり、とん汁、白玉だんごなどの調理に取り組みました。

参加した人々は、自宅にいる時にはできない体験をして「とても楽しかった。またやりたいね」と喜びの表情で感想を語っていました。

町政発展にご尽力

故松浦市太郎さんに叙勲



元国見町議会議員の故松浦市太郎さんへの叙勲伝達が 12 月 17 日行われ、福島県県北地方振興局鈴木徹次長より、妻の愛子さんに勲記と旭日単光章の勲章が手渡されました。

故松浦市太郎さんは、昭和 62 年から平成 15 年までの間に 3 期 12 年間国見町議会議員としてご活躍されたほか、国見町土地改良区理事長の職をつとめるなど、町政の発展と町民福祉の向上にご尽力されました。

仮設住宅で火災予防を呼びかけ

町消防団の取り組み



国見町消防団（吉田春夫団長）では 12 月 18 日、町内 4 箇所の仮設住宅に入居されている方に対し、年末年始の火災予防を呼びかけました。

この日は、消防団員が仮設住宅を 1 軒ずつまわり、火災予防のポイントや 119 番通報の方法などが書かれたチラシを配りながら声を掛けていました。消防団では、火災を発生させないようにするために、日頃から火災予防の呼びかけや夜警などさまざまな予防消防活動に取り組んでいます。

食生活改善推進員 募集!!

食生活改善推進員は、食や栄養について一緒に学習したり、地域の皆さんにもお伝えする等「私達の健康は私達の手で」をスローガンに食生活を通して健康づくりをすすめる活動をしているボランティアです。

現在 12 名が活躍中です。食生活や健康づくりに興味のある方を随時募集しています。

(お問合せ・お申し込みは保健福祉課保健係まで)

～食生活改善推進員の主な活動～

- 育児教室 (対象: 5～7 か月児) での離乳食づくり
- 1 歳 6 か月児健診時でのおやつ作り
- 各保育所での食育指導
- 生活習慣病予防料理教室の開催 など～



小坂季節保育所での様子

発達障がい児理解促進セミナー開催

(福島県安心子ども基金事業)

- 日時 2月7日(火) 午後1時30分～4時
- 場所 A・O・Z (アオウゼ) 大活動室
(福島市曾根田町1-18 MAX ふくしま 4F ☎ 533 - 2347)

- 対象及び定員
 - (1) 子どもの発達障がいを心配している保護者など
 - (2) 子どもの発達障がいについて関心のある幼稚園保育所及び関係機関の職員など

● プログラム内容

13:10～	受付
13:30～13:40	開会
	あいさつ
13:40～15:00	講演「子どもの発達と特性に応じた子育て」(仮) ～家族、支援者、地域全体の発達障がいの理解～ 講師 全国児童発達支援協議会 会長 加藤 正仁 氏 [(社福) からしだね うめだ・あけぼの学園長]
15:00～15:20	情報提供 「福島県の発達障がい児の支援体制」(仮) 報告者 県北保健福祉事務所職員
15:20	閉会
15:30～16:00	個別相談 事前に希望する方 (若干名)

- ◆ 申し込み、問い合わせ
福島県県北保健福祉事務所 保健福祉課 児童家庭支援チーム
(〒960-8012 福島市御山町8-30 ☎ 534-4155 FAX534-4325)

ノロウイルスによる 感染症胃腸炎に 注意しましょう

今年の感染症胃腸炎の患者発生は、全国、県ともに増加しています。
予防の基本は、「手洗い」と調理の際には、食材を十分加熱(中心部の温度は85℃で1分以上)することです。
また、感染の疑いがあるときは、早めにかかりつけ医療機関などで受診しましょう。

Q. ノロウイルスの主な症状は?	A. 潜伏期間は1日から2日で、主症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度です。通常、これら症状が1～2日続いた後、治癒し、後遺症もありません。また、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。
Q. どのように感染するの?	A. 感染経路はほとんどが経口感染で、つぎのような感染様式があると考えられています。 (1) 患者のノロウイルスが大量に含まれるふん便や吐物から人の手などを介して二次感染した場合 (2) 家庭や共同生活施設などヒト同士の接触する機会が多いところでヒトからヒトへ飛沫感染等直接感染する場合 (3) 食品取扱者(食品の製造などの従事者、飲食店における調理従事者、家庭で調理を行う方などが含まれます。)が感染しており、その方を介して汚染した食品を食べた場合 (4) 汚染されていた二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合
Q. 予防法は?	A. ・食事・調理前、帰宅、トイレ、おむつ交換後などは、必ず石けんで手洗いしましょう。 ・カキなどの二枚貝は十分に加熱してから食べましょう。(食品の中心温度が85℃以上で1分間以上の加熱を行えば感染性はなくなるとされています。) ・まな板、包丁、ふきんなどは、家庭用漂白剤で消毒するか熱湯消毒しましょう。 ・ふん便やおう吐物、汚物が付着したタオルや衣類等は必ずビニール手袋を用いて処理しましょう。(汚物が飛び散る恐れがある場合は、さらにマスクを着用しましょう。)

詳しくは、厚生労働省HP「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

*** ニコニコ相談会 *** ※会場に注意してください。

対象者	実施日	実施時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	3月7日(水)	午前10時～ 午前11時30分	観月台文化センター 第1和室

【実施内容】身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》母子健康手帳、お子さんの飲み物(水筒にいれて)を忘れずに!

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成23年11月生まれ) ・9か月児(平成23年5月生まれ)	3月15日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて
《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに!

*** 1歳6ヵ月児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
平成22年7月1日～ 平成22年9月30日生まれの幼児	3月8日(木)	午後1時30分～午後2時	森江野町民センター

【健診内容】内科と歯科の医師の診察、歯科衛生士による歯みがき指導、生活保健指導、身長・体重測定を行います。
心理判定員による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。
《持参するもの》母子健康手帳と1歳6ヵ月児健康診査票(必要事項を記入してください)を忘れずに!

くらしの報

募 集

東日本大震災の記録

福島県では、後世に伝えるべき、あるいは残すべき体験、記憶、記録などを収集し、次の世代に継承していくことを目的として、東日本大震災、原子力災害などの記録を募集します。

次の内容について記録を募集しますので、ご協力いただける方は、電話、ファックス、メールにより提供をお願いします。ご提供いた

だく情報については、改めて日時などをご相談のうえ、収集をします。

なお、体験、記憶、教訓などについては、お話しただいてはいる状況を映像として収録し、収集します。

◆資料、情報などの提供先
福島県歴史資料館（福島市春日町5番54号）
☎534-9220
FAX534-9195
E-mail office@history-archives.fks.ed.jp

※電話受付時間は、午前9時～午後4時30分となります。（土日・祝日を除く）

下請中小企業震災復興特別商談会受注企業

東日本大震災の被災地の経済活動の速やかな復興のため、被災した地域の下請中小企業を対象とした経済産業省中小企業庁主催の下請中小企業震災復興特別商談会を開催します。

商談会には、全国から約60社の発注企業が参加する予定です。受注企業として参加希望される場合は、次

お知らせ

のころまで申し込み、問い合わせください。

▼商談会開催日 3月14日（水）午後1時～午後5時30分

▼場所 岩手県盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウィング

▼申込期限 2月9日（木）

◆申込・問い合わせ
下請中小企業震災復興特別商談会開催事務局（財）全国中小企業取引振興協会内）
☎03-5541-6688

院長 堀川哲男の第21回元氣セミナー

公立藤田総合病院では、地域住民の皆様に向けて「元氣セミナー」を開催します。申込不要・無料のセミナーですので、お気軽にお越しください。

▼日時 1月19日（木）午後4時～

▼場所 総合受付前ホール・シヤングリラ

▼演題 日野原体操から認

知症予防運動を考える

▼講師 院長 堀川 哲男氏

◆問い合わせ
公立藤田総合病院地域医療連携室
☎585-2121

今月の納税

町県民税（第4期）
国民健康保険税（第7期）
後期高齢者医療保険料（第6期）
介護保険料（第7期）
納期限は…
1月31日（火）です。

農業委員会 総会の日程

町農業委員会の総会では、農地の賃貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。

総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。

・日時 1月20日（金）午後1時30分
2月20日（月）午後1時30分

・場所 観月台文化センター 大研修室

◆問い合わせ 農業委員会事務局 ☎585-2890

なりません。●介護休暇

要介護状態にある対象家族の介護その他の世話をを行う従業員は、事業主に申し出るにより、対象家族が1人であれば年に5日まで、2人以上であれば年に10日まで、1日単位で休暇を取得することができます。

◆問い合わせ
福島労働局雇用均等室
☎536-4609

西根堰土地改良区 農地異動届

伊達西根堰土地改良区費の水利費賦課は、毎年4月1日現在の農地面積を基準に算定されます。平成24年度の水利費賦課の基準となる農地面積などに変更がある場合は、届け出をしてください。

▼届け出が必要な場合
有権者が変わったとき
▼地区除外をするとき
▼経営移譲や死亡などで名義変更をしたとき
▼農地の貸借があったとき（水利費の支払義務者を確認してください）

震災・原発事故などの相談を受付

福島県弁護士会では、次の被災者支援活動を行っていますので、ご利用ください。

●震災・原発無料電話相談（相談料は無料ですが、通話料はかかります）

▼受付時間 平日午後2時～午後4時
☎024-534-1211
024-925-6511

0242-27-2522
0246-25-0455

●震災・原発無料相談（予約制）

▼実施場所 福島、二本松、郡山、白河、会津若松、いわき、相馬の7箇所

▼予約方法 平日午前10時～午後4時まで ☎0120-700-791（フリーダイヤル）へお電話ください。

●原子力発電所事故被害者救済支援センター

▼支援内容 原発事故の被害者救済を支援するため、弁護士を紹介します。（相談は3回まで無料）

▼受付窓口 平日午前10時～午後3時まで
☎024-533-7770

【障がい者相談】

・開催日 21日（火）
・場所 観月台文化センター 保健指導室

・時間 午前10時～午後4時

・相談事業受託者 特定非営利法人 福島・伊達精神障害者福祉会「ひびきの会」

【心配ごと相談】

・開催日及び相談員
9日（木）安田 駒さん
佐藤ユキ子さん
23日（木）斎藤 洋子さん
八巻 忠一さん

・場所 観月台文化センター 第2和室

・時間 午前9時～正午

2月の相談会

戸籍の窓口

11月21日～12月20日受付分

●結婚おめでとう●

佐々木 智さん（石母田西）
阿部さや香さん

●誕生おめでとう●

岡崎 愛優ちゃん（宮東）
拓生さん 美奈子さん

●おくやみ申し上げます●

仲野 榮助さん 73（小林）
佐藤 勝子さん 70（第3）
澁谷 フキさん 91（光明寺）
鴨田 竹男さん 89（内谷西）
遠藤 清さん 70（鳥取）
佐久間武夫さん 96（第12）
鈴木 シンさん 94（川内）

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

福島地方法務局からのお知らせ

福島地方法務局訟務部門と人権擁護課は、1月16日から次の場所に移転します。

〒960-0103 福島市本内字南長割1-3

☎訟務部門 534-1976
人権擁護課 534-1994

人口と世帯

平成23年11月30日現在

人口 10,196人（△7）
男 4,933人（△3）
女 5,263人（△4）
世帯 3,343世帯（△1）

※広報くみにみでは、住民基本台帳人口を掲載しています。

第20回町長杯 新春囲碁・将棋大会

日時 2月5日(日) 午前9時開会
会場 観月台文化センター 第1和室
参加費 1人1,000円
小中学生500円(昼食代含む)
対象 町民及び町内の職場に勤務する愛好者、
小中学生愛好者
定員 囲碁・将棋 各30名
表彰 A・B各級の優勝、準優勝、1位、2位、3位
A級優勝者には町長杯を授与、参加賞
◆申し込み 1月27日(金)まで生涯学習課へ

参加者募集

電話・メールでの
申込みも可能です

民話の語りべ体験講座

いまこそ 国見 福島 日本の文化を
伝えていこう!

日時 2月18日(土)、25日(土)、3月3日(土)
午前9時30分～11時30分
場所 観月台文化センター 大研修室
対象 小学生から大人までどなたでも
10名程度
講師 国見民話の会(内池和子会長)
受講料 無料
◆申し込み 1月31日(火)まで生涯学習課へ



書初めに取り組む児童

心静かに集中・ 「冬休み書初め教室」

冬休み書初め教室が12月26日、町内の小学生17名の参加により観月台文化センターで開かれ、町内在住の高橋竹峰先生ほか「手習い

クラブ」のみなさんご指導のもと練習をしました。先生からは、筆の基本的な扱いや姿勢、学年ごとに課題の書き方のポイントを教えていただきました。また、「書初め展は大きな文字と名前のバランスが大切」と参加児童一人一人の名前入りお手本を準備していただきました。

参加児童は、実物大のお手本を書きやすくと、真剣に練習し、みるみる上達していました。



講演をする菊池利雄氏

出前町民講座 「ふるさと歴史教室」開講

国見町を中心とする歴史を学ぶ「ふるさと歴史教室」の第1回目を12月17日、小坂農村総合管理センターで

開催しました。講師の菊池利雄氏が、「国見石と石造文化」をテーマに講演し、地質的特徴や明治期の養蚕にかかわった国見石の歴史などを解説しました。身近な国見石についての歴史を、参加者は興味深く聞き入っていました。次回は、1月21日(土)に第2回目を開催し、全5回の講演を予定しています。3人の講師が、さまざまな視点から国見の歴史をひもといいていきます。ぜひご参加ください。

●第2回目以降の開催内容●

- 『国見の近代化遺産』(菊池利雄氏)
1/21(土)午後1時30分～小坂農村総合管理センター
- 『国見・桑折両町史からみた阿武隈川流域の地名考』(笠松金次氏)
2/18(土)午後1時30分～森江野町民センター
- 『古文書からみる国見読解』(高橋充氏)
3/3(土)午後1時30分～観月台文化センター
- 『大木戸～貝田の歴史散歩』(笠松金次氏)
3/17(土)午前10時～大木戸ふれあいセンター

◆問い合わせ・申し込み 生涯学習課へ

狂言で笑ってみよう! 「狂言体験講座」開催

10月から3回にわたって、古典鑑賞会(高橋幸子代表)との共催で、「狂言体験講座」を開催しました。「狂言」とは笑いの要素をふんだんに含んだセリフ劇です。講師には、京都から大蔵流狂言師の松本薫さんを招き、実際の演技をお見せしながら、狂言にまつわる話や、狂言独特の演技・演出方法を楽しく紹介していただきました。



狂言を楽しく紹介する松本さん

受講者は、講師の話に引き込まれ、頭も体もリラックスし、大きな声を出したり笑ったりして、最後は演技にも挑戦しました。

この講座のほか、県北中や森江野小でも狂言体験学習をご指導いただきました。



川俣町をスタートする第1区の選手

伊達市及び伊達郡内を縦断する第30回伊達地方一周駅伝競走大会が12月4日、川俣町をスタートし、伊達

劇的な展開で 見事優勝!

市保原町をゴールとする12区間49・9kmのコースで開催され、旧町単位で17チームが出場して健脚を競いました。

町内では、役場前4号国道交差点手前に中継所が設けられ、沿道からは温かい声援が送られました。

当町一般チームは、懸命にタスキをつないで徐々にトップに迫り、第11区で抜き去るとそのまま逃げ切り、3年ぶり3度目の優勝を果たしました。

当町チームの記録は次のとおりです。

▽一般の部：優勝(2時間58分47秒)、区間賞：酒井透(3区)、武田桃香(4区)
▽中学の部：第6位(3時間15分31秒)、区間賞：佐藤雄大(6区)



10区佐藤広章選手から第11区佐藤史宏選手へ

恒例の「こどもまつり」が12月3日、約1000名の参加により観月台文化センターで開催されました。

開会式では友達や家族と一緒に、集団じゃんけんゲームで盛り上がりました。その後、長縄とびやドッチビー、クリスマスカード作り、人形劇の観賞、絵本の読み聞かせを聞くなど、様々な活動を楽しみました。また、帰りには参加者全員に手作りのフルーツケーキがプレゼントされました。

ひと足早いクリスマス 「こどもまつり」開催



クリスマスカード作り

協力団体の「国見民話の会」「人形劇サークルエプロン」「読みきかせ みみずく」「わんぱく広場指導員」「くにみ女性教室」の皆さんも、こどもたちの笑顔が見られて嬉しいと、参加者全員でひと足早いクリスマスを味わいました。

生涯学習 つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

行事のお知らせ

《1月》

- 16日(月) 子ども移動図書館(藤田小2年)
- 17日(火) 子ども移動図書館(藤田小1年)
- 19日(木) 子ども移動図書館(藤田小3年)
- 20日(金) 子ども移動図書館(大枝小)
成人学級「一年の反省・新年会」
- 21日(土) 第2回ふるさと歴史教室
- 24日(火) 子ども移動図書館(小坂小)
- 25日(水) くにみ女性教室「健康料理」
- 26日(木) 阿津賀志学級「カラオケを唄う会」
ブックスタート
文化財防火デー
- 28日(土) 子ども和楽器体験教室⑧
- 30日(月) 子ども移動図書館(大木戸小)

《2月》

- 4日(土) 子ども和楽器体験教室⑨
- 5日(日) 第20回町長杯新春囲碁将棋大会
休館日
- 9日(木) 子ども移動図書館(森江野小)
- 11日(土) 子ども和楽器体験教室⑩
建国記念の日
- 13日(月) 子ども移動図書館(藤田小2年)
- 14日(火) 子ども移動図書館(小坂小)



成人式



創立 40 周年記念研修旅行 三内丸山遺跡にて

まちのサークル

VOL 4

町の歴史を
後世に伝える

国見町郷土史研究会

プロフィール

- ・代表者 小川 恵見
- ・主な活動内容 総会、研修旅行、講演会
文化祭展示
会報（郷土の研究）発行
- ・団員数 214 名
- ・会費 2,500 円 / 年
- ・問い合わせ 内池育男 ☎ 585-3320

今から約40年前の昭和45年、「国見町史」の編纂が企画され、旧町村の代表者や識見者が集まりました。この時のメンバーが中心となり翌昭和46年に発足したのが、今回紹介する国見町郷土史研究会です。

国見町郷土史研究会では、みんなで仲良く郷土のことを知ろうということをもっとに活動しています。そして、活動にあたっては、地元の郷土史研究家菊池利雄さんが指導にあたり、多くの会員が自分なりに郷土のことを研究しています。会の主な活動は、プロ

フィールに示したとおりで、中でも大きなものが発足当時から発行し続けている会報「郷土の研究」の執筆、編集作業です。「文化祭が終わると、年度末の発行に向けて会員から様々な郷土に関する研究の原稿を集め、会報を編集する作業に入ります。しかし、年々原稿を出してくる会員が減っているのが現状です。題材を難しく考えてしまっているのではないだろうか」。庶務の内池育男さんは、率直な感想を話しました。

そして内池さんは、「郷土の研究とは、古いものだけをとらえる必要は無いと思います。今のことでも何年後に気づけば、重要な歴史の一つとなります。今のことを記録としてきちんと残していくことも大切なことです」と、郷土の研究について、無限の可能性があることも話しました。

国見町郷土史研究会があり、会員がさまざまな研究をしてきたことにより、国見町は、歴史のまちとして広く知れ渡っているのです。

阿津賀志山ビッグツリー
(12月23日点灯式で打ち上げられた花火)



小さな天才たち 大木戸小学校



「ゆめのくまさん」
松田駿太郎(3年)



「なぞのUFO」
岡田 裕貴(3年)



「月明かりがきれいな森の中へ」
阿部 美咲(4年)



「巨大えびと海へたんけんだー」
松浦 諭(4年)

あ と が き

まちの皆さんに聞いた「こんな年にしたい」という内容。突然のお願いにもかかわらず、皆さんそれぞれに自分自身の考えを言葉で表現していただきました。さて私自身はというと、「1人でも多くの皆さんにすみずみまで読んでもらえるような広報紙を作る」というのが今年の抱負です。(A.S)



この印刷物は、「大豆油インキ」を使用して印刷したものです。



国見町

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字観月台15 国見町観月台文化センター内 国見町役場（仮庁舎）

TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2181 E-mail kikaku@town.kunimi.fukushima.jp URL www.town.kunimi.fukushima.jp/